



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月28日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 2023年6月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 当社ウェブサイトにて決算説明の動画配信予定  
 (百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	44,057	9.7	1,363	△11.7	1,514	△10.4	921	△31.2
2022年9月期第2四半期	40,159	17.5	1,543	△1.7	1,690	1.9	1,340	26.8

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 996百万円(△18.8%) 2022年9月期第2四半期 1,227百万円(4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	79.69	—
2022年9月期第2四半期	115.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	44,273	23,904	54.0
2022年9月期	42,640	23,209	54.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 23,904百万円 2022年9月期 23,209百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	18.00	—	26.00	44.00
2023年9月期	—	23.00			
2023年9月期(予想)			—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	5.5	2,080	9.5	2,410	11.2	1,650	0.2	142.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	11,647,820株	2022年9月期	11,647,820株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	82,025株	2022年9月期	81,958株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	11,565,817株	2022年9月期2Q	11,565,882株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の説明資料及び説明動画を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(表示方法の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は440億57百万円と前年同四半期に比べ38億97百万円(9.7%)の増収となりました。

損益面につきましては、営業利益は大型物件市場の売上総利益率が低下したことや、人件費および物流費等の販管費が増加したことにより、13億63百万円と前年同四半期に比べ1億80百万円(11.7%)の減益、経常利益は15億14百万円と前年同四半期に比べ1億75百万円(10.4%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は9億21百万円と前年同四半期に比べ4億18百万円(31.2%)の減益となりましたが、これは前期に負ののれん発生益による特別利益が存在したことによるものであります。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感が概ね前年比プラスで推移しました。新築物件の着工数は戸建分譲や貸家が概ね前年を上回って推移したものの、持家は本年2月まで15か月連続で前年割れとなり、前年に増加した影響はあったもののコロナ禍前の水準には至らず、力強さに欠ける状況となりました。

このような事業環境のもと、タイル・建材販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、住宅向けの自社ブランドタイル販売が増加したことによるものであります。タイル・建材工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、ビルダー及び一般工務店向けのサイディング工事やサッシ工事が増加したことによるものであります。住宅設備機器関連販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、新規ビルダー向けキッチンや衛生陶器の受注が増加したことや、仕入れ商品の値上げに対する販売価格への転嫁が進んだことによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は371億97百万円と前年同四半期に比べ31億4百万円(9.1%)の増収、セグメント利益は17億86百万円と前年同四半期に比べ65百万円(3.8%)の増益となりました。

#### (大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、マンションの新築着工数は前年比プラスで推移し、民間の非住宅投資および公共の建設投資についても前年を上回る状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、前期後半における受注物件の減少や、中規模マンション等でのタイル使用面積の減少などによるものであります。住宅設備販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、マンションリフォーム工事や非住宅物件向けの設備工事が増加したことによるものであります。

空調衛生設備工事につきましては、売上高は前年を大きく下回りました。主な要因としましては、前期後半における公共物件の受注量が入札競争激化の要因等により減少したことによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は68億59百万円と前年同四半期に比べ7億92百万円(13.1%)の増収、セグメント利益は、空調工事等の価格競争による粗利率の低下などにより、3億29百万円と前年同四半期に比べ1億29百万円(28.1%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億33百万円増加し、442億73百万円となりました。これは主として、受取手形・完成工事未収入金等が16億71百万円、投資有価証券が6億33百万円、子会社株式（投資その他の資産、その他）が9億49百万円増加した一方で、現金及び預金が16億5百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億38百万円増加し、203億69百万円となりました。これは主として、支払手形・工事未払金等が8億23百万円、短期借入金が7億50百万円増加した一方で、未払費用（流動負債、その他）が5億26百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億95百万円増加し、239億4百万円となりました。これは主として、利益剰余金が6億20百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,195,433	10,590,385
受取手形・完成工事未収入金等	14,036,836	15,708,274
商品	1,011,319	1,053,117
未成工事支出金	2,985,347	3,115,304
販売用不動産	693,435	560,020
その他	734,170	828,909
貸倒引当金	△11,070	△13,636
流動資産合計	31,645,471	31,842,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,305,069	1,271,266
機械装置及び運搬具(純額)	10,159	8,013
工具、器具及び備品(純額)	63,787	66,338
土地	5,145,860	5,145,860
リース資産(純額)	49,299	49,598
建設仮勘定	25,137	48,495
有形固定資産合計	6,599,313	6,589,573
無形固定資産		
のれん	136,053	113,377
その他	152,510	108,044
無形固定資産合計	288,563	221,422
投資その他の資産		
投資有価証券	1,401,211	2,034,326
長期貸付金	5,000	5,000
退職給付に係る資産	505,485	511,927
繰延税金資産	453,251	322,228
その他	1,828,885	2,836,377
貸倒引当金	△87,047	△89,248
投資その他の資産合計	4,106,785	5,620,611
固定資産合計	10,994,662	12,431,608
資産合計	42,640,134	44,273,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,033,717	9,857,431
ファクタリング未払金	4,336,738	4,467,315
短期借入金	427,229	1,262,583
リース債務	17,982	18,399
未払法人税等	502,912	444,591
未成工事受入金	1,409,954	1,095,129
完成工事補償引当金	35,902	43,416
工事損失引当金	59,469	60,020
その他	2,044,494	1,712,077
流動負債合計	17,868,400	18,960,965
固定負債		
長期借入金	233,859	60,784
リース債務	36,219	36,178
繰延税金負債	5,768	38,252
役員退職慰労未払金	354,530	356,162
退職給付に係る負債	103,460	97,045
その他	828,757	819,950
固定負債合計	1,562,594	1,408,373
負債合計	19,430,994	20,369,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,916	1,360,916
利益剰余金	20,607,297	21,228,295
自己株式	△33,566	△33,630
株主資本合計	22,830,997	23,451,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,874	253,114
退職給付に係る調整累計額	226,268	199,599
その他の包括利益累計額合計	378,143	452,714
純資産合計	23,209,140	23,904,644
負債純資産合計	42,640,134	44,273,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	40,159,730	44,057,131
売上原価	34,151,772	37,849,408
売上総利益	6,007,957	6,207,722
販売費及び一般管理費	4,464,151	4,844,249
営業利益	1,543,806	1,363,473
営業外収益		
受取利息	1,062	5,055
受取配当金	16,859	16,370
仕入割引	51,267	56,880
不動産賃貸料	54,363	53,174
その他	54,143	49,078
営業外収益合計	177,695	180,558
営業外費用		
支払利息	6,110	6,134
支払手数料	3,318	2,308
不動産賃貸原価	18,016	19,042
従業員休業補償損失	1,854	—
その他	1,940	1,729
営業外費用合計	31,239	29,214
経常利益	1,690,262	1,514,817
特別利益		
固定資産売却益	82	—
負ののれん発生益	328,865	—
特別利益合計	328,948	—
特別損失		
固定資産除却損	44	3,679
抱合せ株式消滅差損	86,391	11,264
特別損失合計	86,435	14,943
税金等調整前四半期純利益	1,932,774	1,499,874
法人税、住民税及び事業税	541,398	447,917
法人税等調整額	50,767	130,245
法人税等合計	592,165	578,163
四半期純利益	1,340,608	921,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,340,608	921,710



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,340,608	921,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,712	101,240
退職給付に係る調整額	△21,663	△26,668
その他の包括利益合計	△113,376	74,571
四半期包括利益	1,227,232	996,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,227,232	996,281
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

従来、「流動資産」の「未成工事支出金」に含めて表示していた「販売用不動産」は、買取再販事業の重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表を組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「未成工事支出金」に表示していた3,678,783千円は、「流動資産」の「未成工事支出金」2,985,347千円、「販売用不動産」693,435千円として組替えしております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りに関して、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,066,537	34,093,192	40,159,730	—	40,159,730
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	648	648	△648	—
計	6,066,537	34,093,840	40,160,378	△648	40,159,730
セグメント利益	459,167	1,720,533	2,179,701	△635,895	1,543,806

(注)1 セグメント利益の調整額△635,895千円はセグメント間取引消去105,701千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△741,596千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,859,498	37,197,632	44,057,131	—	44,057,131
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,333	1,333	△1,333	—
計	6,859,498	37,198,966	44,058,465	△1,333	44,057,131
セグメント利益	329,959	1,786,150	2,116,109	△752,636	1,363,473

(注)1 セグメント利益の調整額△752,636千円はセグメント間取引消去135,553千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△888,190千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。